

## 第2回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 令和元年6月17日（月） 午後6時00分～午後20時5分

【場 所】 役場 3階 大会議室

【出席者】 委員～12名（欠席3名） 町～9名

|    |   |   |      |   |      |   |       |   |       |   |
|----|---|---|------|---|------|---|-------|---|-------|---|
| 委員 | 北 準一  | ○ | 三原 新 | ○ | 中村尚子 | × | 大櫛哲行  | ○ | 高橋典之  | ○ |
|    | 村井啓介  | ○ | 北裕次郎 | ○ | 太田裕治 | ○ | 梅本てる子 | ○ | 藤由 均  | ○ |
|    | 下川貴子  | ○ | 長屋高史 | ○ | 福塚智美 | × | 吉田麻里  | ○ | 宇賀神彩香 | × |
| 町  | 三本町長、相澤副町長、萬教育長<br>事務局：碓井参事、井上主幹、谷口係長、田宮主査、吉田主事、佐々木主事 |   |      |   |      |   |       |   |       |   |

### 1. 開会 碓井参事

それではまず、委嘱書の交付を三本町長からそれぞれみなさんに交付を行いますので、よろしくお願いいたします。

### 2. 委嘱書交付

町長より交付

### 3. 町長あいさつ

皆さんおぼんでございます。本当に参事の方からもありましたけど、今一番日が長い時期でありますけど、逆に皆さんに大変お忙しいなか参加いただきありがとうございます。改めて町政の推進にご協力を頂くと共に感謝いただきたく思います。下川委員さんにおかれましては前にもこの委員会に出たということで活発な意見を頂くことを改めてお願いをしたいと思います。先月は季節外れの猛暑日ということがあったのですが、今日はまた本当に肌寒いというよりも本当に寒いといった状況でありました。天候の変化が顕著ではありますが、委員の皆様方に置かれましては健康管理に留意していただきたいと思います。まずは最近の町政の動向についてはお話していきたいと思いますが、5月5日から8日までのゴールデンウィーク中、奈井江町の観光協会他関係団体と共催により第2回さくらまつりが実施されました。期間中、天候に恵まれたこともありまして桜が満開になり、延べ1万2千3百人ということで聞いております。にわ山を訪れていただき町外からも多くの方にお越しを頂きました。近年では桜の名所としての知名度も上がって、観光名所として本町の活性化に繋がるものを期待しているものであります。5月16日に行われた全町クリーン作戦ですけれども、これも子供たちの発案で始まった取組みで今年で9回目を迎えました。小学校から高校までの児童生徒、町内企業や障がい者施設の方々や一般参加者も含めて480名もの人が参加していただき町をキレイにさせていただきました。5月26日には北海道住電精密他グループ企業2社と共催の芝桜まつりも開催されまして、住友電工幹部の皆さんも来町いただくなかで、前北海道知事の高橋はるみ、また佐々木誠也前空知振興局長にもお越しを頂いたなかで、先ほども申し上げましたが猛暑のなかでの大勢の賑わいを感じたところでありまして、北海道住電精密におきましては現在新工場を建設しておりまして、もうあらかたできておりますが7月5日に修祓式を執り行ったのち、秋口の全面稼働開始に向けて準備を進めていただいているという風にお聞きをしております。これからも地域を支える役割を担っていただけると一層の期待を寄せているものであります。最後になりますけど、農作物の状況でありますけど春作業も無事済み、

田植えも無事終了と聞いております。過日はメロンの初出荷においても甘さも大きさも良好であるということで実りの多い秋であることを心から願っているところであります。本日はまちづくり計画というものを作っておりますが、その策定についての2回目の会議になっております。いよいよ本格的な議論に入っておりますけれども、今回はこれまで行ってきた施策の効果、検証やその推進によるその変化などについて説明させていただきたいと思っております。前回申し上げました通り、皆様との活発な議論の中でまちづくり計画を策定していきたいという風に考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願いをいたします。

#### 4. 自己紹介

下川委員と萬教育長 挨拶

#### 5. 委員長あいさつ

(委員長)

みなさんこんばんは。お仕事お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。そして林さんに代わりまして下川さんが新しく委員さんになられたということでどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。今、町長からお話がありました通り、天候が非常に良くて私も農業をしておりますけれども、非常にお米の方は特に順調の経過ということなんです。ただ雨不足で畑作の方がちょっと心配をしておりますけれども、一日二日雨があつて少しカバーできたかなと。ただ今朝も非常に寒かつたんですけども、予測では7月にエンド型の天気と言われておりますから、平成5年は大冷害でしたけども、7月のお米の一番肝心な時期に13.4.5度といった低温の時期が一週間くらい続いて、不稔が大発生したと実らない。大冷害で国民の食料の確保に国も米を集めるのに苦勞をしたという歴史がありますが、7月にいい天気が続いてくれればいいなと、今そんな願ひを持っているところです。今日は2回目のまちづくり委員会でありましてけれども、前期、後期の令和5年までの後期のまちづくり計画の方向を定めていくということになります。・・委員長を中心にいろいろ議論して

(碓井参事)

それでは進行をよろしくお願ひ致します。

#### 7. 議題

(委員長)

それでは議題協議の方に移らせていただきます。それでは第4期まちづくり計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略についてから(4)の奈井江町人口動向についてまで一括で事務局より説明いたします。

(1) 第6期まちづくり計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の関係【資料1】

(2) まちづくり計画策定の基礎資料について【資料2】

(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果・検証について【資料3】

(4) 奈井江町人口動向について【資料4】

【井上主幹説明】

(委員長)

それではどこからでも構いません。ご意見をいただきたいと思ひます。

(委員)

資料2の1ページ目ですが、中古住宅購入助成ということで平成30年度が16件、4年間合計で59件という形で結構やっているという発表がありましたが、奈井江町で中古住宅は何件ありますか。

(井上主幹)

中古で売り出している住宅と空き家の把握は直近ではしていませんので、正確な数字は申し上げられませんが、総合戦略を策定する時に空き家らしき家を1件、1件回って把握しようと思い、冬場に除雪がされていない住宅ということをお回ったんですが、その当方で100を超える空き家がありました。

ただ、使える住宅と使えない住宅があるものですから。

(委員)

私の息子がたまたま、中古住宅を購入したんですけどもインターネットで探すと奈井江町で中古住宅は不動産業者が出しているもので5.6件しかなかったんです。新築は建てられないけど中古住宅は買えるという人がいるんじゃないかと思えます。そうすると、不動産屋に頼まないで町としても、たとえば「本町にこういう住宅が何軒あるよ。そして、実際には売りには出してないけどもこういう空き家があるよとか南町、北町にどうだ」とこういうものを具体的に町民に知らせないとなかなか中古住宅が買えないのではないかと。ということだと思えますよ。

たまたま、うちの息子も「近所にこういう住宅あるから買わないかい」と言われて見に行き買って買うことになったが、言われなければ買わなかったと思う。不動産業者任せではなくて町が中心となってやらないと、全国的に空き家対策が必要になっていると思うので、奈井江町としても積極的に空き家対策のPRを積極的に行う方がいいのではないかと。思えます。

それと、民間賃貸住宅助成も30年度合計43件、4年間で125件しましたとあるんですが、アパートに住んでいる若者世帯は何世帯あるんですか。

助成したよっていうのはわかるが、はたしてそういう形で助成してもらえてることが知っている人がいるのか。広報では載っているが実際に知らない人はいるんじゃないかと感じるんですが。

実際に学園でも知らない人います。他の企業に勤めている人も最大限1万円まで家賃助成してくれるよって知らない人もいますよ。うちの息子も中古住宅の助成を受けるまでいろんな書類出さなきゃだめだってめんどくささもあります。だけど、月最大1万円を助成してもらえてことは最高にいいことだと思います。それが、町民がわかっていて町外の人もわかれば奈井江に住もうってなると思えます。それが、みんな口コミで子育ての医療費もタダな部分もあるよ、町のアパート助成もあるよというPRをしていけば定住対策がおのずと増えていくのではないかと。いう風に感じます。

数的なもの、住民台帳をひろえばわかると思います。そうすると、43件でトータルのべ125件あるというのは、はたして達成率はどれだけあるのか。125件で達成率が100%なのかそれとも10%なのかもしれない。そしてその次に集合住宅、新しいのができたけど、空き家が出てくるから大変だっておっしゃってたけど、新たに入った人は実際に住宅補助を申請してくれているのか。結構高額な家賃だと思うんです。そうすると、6万7万も払うことになるからサラリーマンは大変だと思うんです。やっぱり、町の助けが必要だと。ただ、はたしてその方々が1万円なりの助成を申請しているかどうか、把握していますか。たぶんしてないと思うんですね。ただ、達成したって報告されているけど私は違うんじゃないかと思う。事前に書類頂いてなにか意見があったらということで、休みに見たんですが、はたしてどうなのかなと感じを受けたのでその辺を質問したいと思えます。

(委員長)

まずは、中古住宅の把握ということでどのように利用者に知っていただくか。その辺はどうでしょうか。

(井上主幹)

把握状況なんですけど、見極めが難しく固定資産の納付書を送る際にも売却や賃貸の意向があればご連絡くださいというものを入れている。ただ、なかなかアクションがないのが現状です。

(委員)

人づてで聞いているのは、本町にある空き家は売る人も、町の中心だから安く売りたい、けども東町南町北町は中心から外れているので多少安くても売りたいと、こういう話も聞きます。

そうすると、売りたい買いたい、これは結婚するのと一緒だっけよく不動産屋に聞きますが、そのタイムリーな情報をホームページとかで流してあげればそれなりに買いたいと思っている人は、そっちに向いていくのではないかと。そうすると空き家対策になるのではないかと。

私は、南町・北町をウォーキングするんですが南町は崩れてしまいそうな家が結構あります。

それも、所有者が勝手にすればいいって問題ではなくなってくるのではないかと思います。

そうすると、町が何かしらのことを考えないといけないと、そうなるのではないかと。思います。

(碓井参事)

なによりもPRがいろんなやり方も含めて今のお話のとおりだと思いますので、そこはやりたいとは思いますが、これを最初にやり始めた時は、市と違って町に不動産屋がないということで、聞くところがない、紹介するところがないということで町のホームページで初めて商工会と共同でアパートのオーナーにご協力いただいてわが町にアパートがこんなにあって今の家賃がこれだけで空き家がこれだけありますよと、そこに常時出していきましょうということで、ホームページに定住のサイトを作りました。それに新しい助成制度ができたのでこれも付け加えてやっていくうちに、中古住宅で持ち主が売りたいんだという時にどこから情報が取れるかなという時に最初に思いついたのが、毎年固定資産税の納付書をお送りする時にこういうサイトを設けているのでぜひ申し出てくださいますと、それでうちで紹介しますよということをやって、なかなか今おっしゃるとおりいろんなタイミングも出したいときもそうじゃない時、いろいろあると思いますのでそこは何ができるか、また掘り下げていきたい。

今年、いろんな補助金を出している方に対してアンケート調査をさせていただきました。

あなたはこの補助金を受けるにあたって、どこから情報を得たのかとか、この補助金の効果はどうでしょうか。そんなことも今年初めて実施したので、そこも含め新しい後期に向けて事業をやる際にはどんな捉え方をしたらいいのか、その辺も説明しながらまた、いろんな、もっとこんなことができるんじゃないかということをお聞かせいただけたらと考えております。

(委員長)

関連して若い世代、収入も少ない方が賃貸住宅での助成が実際に効果が出てきているんでしょうけども、もっとしっかりPRをする必要があるということでしたけども、そこらも合わせて。

(委員)

なかなか広報に出しても、広報を一生懸命見る人と、回覧きたからパッとまわしちゃう人と人そ

れぞれだと思うんです。そうすると、アパートのオーナーにPRをするのも一つの方法ではないか  
と思います。住んでいる人に奈井江町にこういうのがあるんだけど知っているかという形で言  
ってもらって、たとえば6万円払っている家賃、ひよっとしたら5万円の負担で済むかもしれない  
よとこんな方法もあるのではないかと思います。若い人は見るかもしれないが、私たちぐらいの年  
齢だとそんなに見ないんじゃないかと思います。

それと、公営住宅の古いところは今後壊されるというか無くしていく、空家個数が多いのはわか  
りますが、向ヶ丘の住宅は8戸空いているようなんですがなんでそんなに空いているんですか。  
私は住宅を建ててますが、住宅を建てる前、定年になったら平屋のところ为空いていたら、裏に畑  
もあるし高齢者にとって良い住み家ではないかと。使い勝手についても、高齢者だったら2階まで  
上がるのはそんなに負担ではないんじゃないかと。8戸空いているのはどんな理由でしょうか。交  
通の便が悪いからでしょうか。

(井上主幹)

やはり、交通の便が悪いのはあるかもしれません。立地条件といいますかお店もあまりないとい  
う状況でもありますし、そういったことが影響しているのではないかと捉えているのですが、ただ、  
それとともに単身入居ができないということもありまして、それに関しては担当でも少し幅を広げ  
たいなということも考えているようです。

(委員)

それに伴って、後から提案したいんですが、たまたま前回の会議の時に、前回までの町民委員会  
は個人的な意見が多いと、各団体から出てきている人が各団体の意見として持ってくる人はいない  
と。それは変ではないかと。私も代表して来ていますが、私、第1回目の時に資料をいただきまし  
て社協に翌月に行って事務局長以下に社協としてどうしたらよいか、今後計画を立てるのにどう関  
わったらいいかを理事会で話し合いをしましょうとなりまして、その結果を持ってきました。

最初に言った意見は個人的な意見ですが、後から言うのは社協を代表して言ってるんですが、社  
協から出た意見はあとで話したいと思うんですが、そうしないと、せっかく選ばれてそしてみんな  
仕事終わってから6時から集まってほしい1時間半くらいするんだったらもったいないと思  
います。なにもしないなら、やめた方がいいと思います。

みんな選ばれている人は団体からどうしたらいいかを今後真剣に奈井江町がどうあるべきかを  
みんな考えた上で次回の会議で意見を持ち寄ることがベターではないかと感じます。  
ちょっと言い過ぎて、申し訳ないですが、....。

(委員長)

団体がある程度代表するといいますか、もちろんたくさん選出の方法で1団体でも二つ三つと  
出していく場合もありますので、ただそこで言われるようにフィードバックして自分の意見も併せ  
てっていうのが一番いい形ですよ。なかなかそこは難しい。だけど言われるように機会があるご  
とに意識的にそれぞれの団体で委員の立場で自覚して話していただくのがベターだと思いますの  
で、ぜひ皆さん心しながら対応いただければと思います。

(委員)

あまり難しいことを言ったら、私もうやめたという声が出てくることもあるかもしれませんので。  
奈井江に住んでいる以上、死ぬまでいるんですよ。どんどん人口が減って行って奈井江町が無く

なっただらと思うと寂しいですよ。だから奈井江は将来的に良い町だよっていうことを考えて行くのがこの会議だと思うんですよ。

(委員長)

委員としてしっかりとした視点を持っていこうということを確認させて戴ければと思います。それでは他の分野もありますから区切っていきたいと思います。

(委員)

私ばかり発言していますけど、社協の理事会で話し合いをした部分なんですけど、18 ページの高齢者見守り体制の充実について社協と高齢者の単身世帯への介護予防や安否確認といった形を連携してやっていくということで、社協の理事会にメンバーに入れてほしいという声が上がりました。19 ページのコミュニティカフェ運営事業について、こういったものも社協とタイアップして事業を行ってほしいといった意見がありました。地域公共交通の利用促進については提案なのですが、町営バスの利用促進についてももう少し考えた方が良いのではないだろうか。買い物に行くのであればバスの本数を多くしてあげる。利用頻度を高めると地域に住む人も出てくる。ないえ温泉も高齢者が利用している。勤務に行くのに私も利用しますが。温泉に一回行くのに 520 円ですか。入浴料を払わなきゃならない。バスの往復料金が 400 円で 920 円かかる。町から老人入浴券が配られても 10 枚だし、なかなかバス代とか高いお金を負担してまで温泉に行かないで家で風呂に入ってしまうことが多いけれども。しいて言うとなヶ丘から逆に松の湯さんに来るにしても同じだと思うんですよ。例えば 200 円のバスの運賃を 100 円にするとか、温泉や銭湯を利用しない方についてはどうなるかっていうと、温泉利用のための軽減パスを作るとか工夫をしたら、温泉の利用客も増えるし、町営バスの利用客も増えるのではないかと、そんなような考えがありましてこれも社協の理事会で提案してくれと言われたのでこの 3 つを提案します。

(委員長)

3 件については提案として挙げていきたいと思います。その他どうですか。

(委員)

今までの説明で過去 4 年間の結果とか話されていたんですけど、町の財政って限りがあると思うんですよ。助成金とか推進に向けたものとかバスについてだったりありますが、どこかで線引きしなければならないものがあると思うんですよ。これがすべての人に公平といったことは難しいのかもしれませんが、限りある資源の割合をどこに。助成金だったらここまでがリミットだという期限を設けたりとか、助成金については目標値のところまで続けていくのかってところはどうなのかといったところがひとつです。もうひとつは若年世代を入れ込むことについてお話をされましたが、高齢者についてもバスの利用についても力を入れてあげてもいいのかなと思いました。財政割合の見直しについても人口がなだらかに減少しているので、税金等も減っていると思うのですが、そこら辺を少しやっていただきたいと思います。最初の質問の助成金についてお伺いしたかったのですが。

(井上主幹)

庁舎内で現在、係長会議・課長会議などを経て、検討していかなければならないところです。今までの実績を踏まえて今後についてどうしていくかを各係からやっとながって来たところです。係

長会議・課長会議、町民委員会の中で検討していきたいと考えております。その中で何を優先すべきか、それもやった方がいいよねということも含め、皆さんの意見を聞きながら決めていきたいと考えております。当然、財政推計もあるものですから、そのデータも見ながらお示ししながら決めていきたいと思っています。今のところは線引きをしないで検討していきたいと思っています。

(委員長)

よろしいですか。

(委員)

今の流れが移住定住だと思うのですが、資料の2、5ページの新聞折り込みの広告、プレス空知広告、若年者を入れるのであれば、新聞を読まないし、プレス空知も見ないと思うんですよね。

芝桜まつり、そんなに町外から来るのかなと思っていたのですが、それってどうなんだろうって思ったので大きな広告を封書の中に入れてもらうとか、家を建てたら助成がされるといった広告をボーナス時に入れるとかの工夫を若い人にも意識してもらえるのではないだろうか。新聞は見ないと思ったので、、、。

プレス空知、私もずっととっていたんですけど奈井江の記事が少ないからやめました。これは奈井江町が発信しないのか、奈井江に住んでいるプレス空知の記者の人が記事を取ってくれないからなのか辞めました。辞める理由として奈井江町の記事が少ないからやめたと書きました。かれこれ10数年見てきたんですけど中には見ている方がいるかも知れないですけど、ほとんど見ていたら奈井江の記事が無いんですよね。記事もないところに広告を入れてもダメだと思います。

(井上主幹)

内部検討もしましたけれども、今年度においては新聞折込等を休んで、SORAっていうフリーペーパーに掲載をしていきたいと思っています。住電精密の社員さんの7割が町内より通勤しているといった状況もあり、従業員さんをターゲットに、芝桜まつりでPR事業を行ってきましたが、5月に村井さんをお願いして社員のみなさんへPRしてほしいということで広告をもっていかせていただきましたが、今後もPRの方法について検討していきたいと思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。ほかに何かありませんか。

(委員)

客観的に意見を言えてうれしいのですが、先ほど各団体の代表という言葉がありましたが、私どもの商工会は利害関係もありますし、またこの会には同じ会員の方もおりますのでなかなか同じ意見ということで統一は出来ませんが、個人の見識の中で意見を言うべきところもあるのではないかなと思います。そこについては私については商工会の意見ではなく、ある部分、議員も経験し、Uターンしてきて30年になりますが、人口が2000人くらいが減りましたが、その原因について、他の町も同じことを言えるのであまり何かということはありませんが、人口が減ったと騒ぎ立てるのは違うわけで、人口にこだわるのではなくて奈井江のオンリーワンの考え方をきちんと立てることによって、住電さんのように工業に力を入れるとか農業に力を入れるとかそういったことの力をきちんと個性豊かな立場のまちづくりというものを軸において、人口が減ったと言っているのは日本全体の話であって、もっと違った意味での町のこだわり、考え方で人口増に結び付けていこうと。

桜まつりも人口 5400 人の町に倍以上の人間が来るわけですから。ちゃんとした個性的な奈井江町の柱を作って立てれば、奈井江町だけでぐちゃぐちゃするのではなくて注目を浴びることで、奈井江町に住んでいてよかったなというプライドもまた生まれてくるのではないのでしょうか。そういったところを含めて人口減だけにこだわるのではなく、ピカリと光るまちに考え方を作っていったら、進めて行ってはいかがでしょうか。

(委員長)

大きな会社ですけど何かどうですか。

(委員)

先ほど、定住のPRとかで以前から我々も協力させて頂いておまして、特に新入社員とのかかわりがあるもので、研修の中でこの部分についても話をさせて頂いております。奈井江町ってユニークな政策を取っているんだよということで割と早く家庭を持つ子も多いものですから、そういったことも思い出してこういった情報を流すといったこともあります。ある程度の流れを今作っていると思っています。本社が兵庫県にあることから20人~30人程度出向という形でこちらに来ますが、その中でもこちらが気に入ってしまい住電の方に入社したいということもありました。親会社の方に言われたら困るのですが、そのくらい気に入った方もいらっしゃる現実です。郵便局で北海キングメロンの申し込みが来たら、それを心待ちにされている方もいらっしゃるんですね。うちの社員のなかで農家さんの知り合いがいる方は直接販売会みたいのをやれないか声が上がったりして、うちの会社の中でも色々な政策が活かされていると思って手ごたえを感じています。以前にもお話しましたが、社内にも資源がたくさんあるのでそれとの橋渡しをできればと思っています。さきほど資料2を見ていて思ったのですが、施策を見ていたら就農人口を見ても作付けが減ったりとかありますが、それは仕方ないなと思いますけど、奈井江商業高校について非常に活気があり生徒も増えてきている事から、いいなと思いますけど、そのほかに農業とのリンクがないのかなとちょっと疑問には思っているんですね。せつかくいい農業の基盤があるのに後継者を育てるための何かをリンクさせていくという部分がひとつあるのではないかと。あとは我々企業も予算に限りがあるため、色々なプロジェクトを実施していくために効果、検証とかいろいろあるとは思いますが、3年ごとに定住、農業などに特化してやるのはよいのではないかと考えております。投資をするのはいつってことの見極めは難しいでしょうけど、そういったこともおもしろいのではないのでしょうか。

(委員長)

みなさんから意見を聞いてと思っておりますので。

(委員)

前回の自分の発言が物議を醸しだしてしまったようで申し訳ありません。全部が全部持ち帰って持ってくるということでは無いと思うんですよ。10個あるうち9個は自分の意見で良いと思うんですよ。たまに1個くらい、大事なことを持ち帰るくらいで色んな意見が出るとは思いますし、自分もまちづくりに参加しているんだということを醸し出せる材料になるのかなという思いで前回発言させて頂いております。最後の紙の出生数と小学校入学数の推計を見るとこんなに効果が出ているんだなということが分かりました。従前はむしろ減っているのが増えています。これはいい資料だと思っています。

(委員長)

具体的に形に出てきていますよね。

(委員)

資料3の個人的に思ったことなんですけど、第3子以降の保育料無償化についてですけども、奈井江町は子育てに関する支援は結構手厚い方だとは思いますが、各種無償化とうたってはいますが結構ハードルが高いのではと感じています。果たして3子目までいる世帯が何世帯あるかとか、そういった支援が行き届くまで遠すぎると思うので、他の町との差をつけるためにも1子目からと思いました。PRとして桜まつりで12,000人もの方が来たという町長のお話もありますが、自分もお祭りに行った際にお客さんとして行きましたが、スタッフが法被を着ていたのだけどもあまり宣伝されているわけでもなく、景色をバックに写真を撮ったけど、木がじゃまになっているように感じたので、景観を大切にしてほしいなと思ったので木の伐採とかされてもいいのかなと思います。

あと、奈井江町のPRをもっとしていいと思います。秩父別町みたいに子どもが遊べるような施設を作って、、、。交流人口が増えているので、奈井江町でもやってもいいと思うんだけど、、、。

ふるさと納税とかを有効活用して人が集まる工夫をされてもいいと思うので、子どもを中心に予算を使ってほしいと思います。

会議のやり方として時間をかけて説明をしていますが、事前に議案を頂いて目を通して、省略して、討論する時間を増やした方が有意義に感じるのですが。

(委員長)

ありがとうございます。

(委員)

私は障がい者団体の会長をやっているのですが、そちらの方の話をしたと思います。どこの団体も高齢者が増えて、障害の場合は奈井江町内だけで障害者手帳の所持者は500人もいるということを知っているため、会員が100名弱なので、以前に副町長のところに障がい者団体の三役でお話をしに行ったことがあるのですが、会員を増やすためにということでしたが、成果に結びつきませんでした。それは空知地区の団体の中で一斉に各市町に議長にもお話をしに行きました。

(委員長)

どの団体も大変な時になって来ていますよね。

(委員)

桜まつりでしょうかね。大勢来ていただけることは僕ら農業団体にとってもイベントの時に連携してPRすることができればと思っております。質問なんですけど、新築助成とか中古助成とか、家賃助成についてですが、4か年合計、新築物件30件って言っていますが、何件中何件何ですか。

(井上主幹)

新築助成はそのために出しているのですが、そのままの数字ですね。新築と中古に関してはほぼ100%だと思っています。家賃助成については押さえていません。

(委員)

家賃助成については知らない人もいるといった状況なんですか。

(井上主幹)

委員さんからも知らない人もいるのではないかといった意見がありましたが、そうなのかもしれません。今後、それについても考えて行かなければならないと思っています。

(委員)

条件については何かあるんですか。 家賃を受けるための条件って。

(谷口係長)

家賃助成につきましては 35 歳以下の単身者、若年世帯、子育て世代が対象になっております。助成期間は 5 年間です。

(委員)

例えば、今まで知らなかった人がこれから申請したら、受けれるってということですよ。

(谷口係長)

その対象に当たればですね。

(委員長)

じゃあ、全員に伺いたいということで。

(委員)

定住対策なんですけれども、いろんなところでやっているのも町で呼び込もうと思うならこっつていうところがなかったら、なかなか定住はしないと思うんです。住電の方も結構町外から通ってくる方が多いですよ。ほとんどだと思えます。アパートも建っては来ていますが、アパート建設にも助成金っていうのが何年かで 3,000 万と出ているようですが、建てる側としても建てて 10 年はほとんどもうけがないということを不動産屋さんから聞いたことがあります。うちも声をかけてもらったことがあります、10 年後くらいで建物が悪くなってきて不備が出て来るとか、魅力的なものを作らないとアパートがいくら増えてもなかなか住んでもらえないし。栗山町でも公営住宅が立派なのが建っていますが、そういうものが建てて高齢者の方がどんどん入ってもらえるような工夫とか。向ヶ丘も年を取ったら便利なところを狙っていくので近いところに住みたいってなると思うので。町に近くて買い物に行ける場所に建ててほしいと思うので。役場庁舎だって古くなってきているので、公営住宅まではいかないですが便利にして欲しいなと思っています。

それとお願いがありまして、本町女性部の本町小公園の花壇の手入れですが、花壇の真ん中に丸くなっている部分があるのですが、もう少しで古くなって倒れそうなので電気関係の部分を見てもらえないかなあという話が出てきています。

(委員長)

ありがとうございます。

(委員)

私には5歳と2歳の子どもがいておむつを捨てるんですけど、結構すごい量になっているんですよ。燃えるごみの日が週に1度しかないのでいっぱいになるし、ごみ袋も他の所より高いと思うのですよ。以前、砂川市に住んでいたんですがおむつを使う世帯に対して1年分のごみ袋の助成を行ってました。奈井江ではおむつを置いているところが少ない。新生児の小さな子用のおむつが置いていないので生活できないみたいな。車が無かったら暮らせない。おむつがないから砂川へ行く、美唄へ行くみたいな状況です。

(委員長)

あらゆるこまめな対応をしていかなければならないですよ。ここの場で集約するという事は行いませんが、何か他にありませんか。

(委員)

各公園の遊具と子ども園にあるものについての点検を。ライマン公園の河川に近いところの事故防止について考えて頂きたいと思います。

(委員長)

報告されました経過やら、皆さんの立場、視点からご意見を戴いたところでございます。今日は意見を戴いたものを計画づくりの参考にさせてもらおうということで。具体的な後期計画が示されてきましたらまた検討していくということになっていくと思いますが。今日は時間を経過しましたので皆さんからの意見を終わらせて頂いて会議を終わらせて頂きたいと思います。

(井上主幹)

現在のまち・ひと・しごと創生総合戦略の一つだけ事業を追加させていただきたいと思います。

事業は、別紙のとおり地方創生移住支援事業ということで、北海道と協働で行う事業となっております。東京圏からの転出者が地方の指定の中小企業に就職したときに100万円支援しましょうというものです。

既に申請を挙げている段階となっておりますが、中小企業の人手不足解消にも期待される事業となっております。よろしく願いいたします。

(委員長)

今の件についてありませんね。次にまちづくりモニターと地区担当職員についてです。

(井上主幹)

まちづくりモニターと地区担当職員制度については町長の公約にありますので進めていきたいということです。まちづくりモニターとは町長が町民の意見を直接聞きたいということから設けたいとのことで、6名を設置をしたいところですが現在3名の応募となっております。今月いっぱいまで募集期間を設けてあります。お近くで参加されたいという方がいましたらご連絡をお願いします。

地区担当職員は、地区に職員を3名ほど派遣し、地域と行政のパイプ役として地域の活性化につなげる役割を担っていきます。

私たち職員が地域の総会等に参加して、地域の課題等を把握しながら、これから進めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(碓井参事)

最後に一点ですがこれも町長の公約ということで進めてきたのですが、役場の組織を変えようと。町民サービスをよくしようということですが、高齢者は福祉係や介護支援サービスを一括に役場でしようということ。子育て向けには子育て支援センターと保健を一緒に保健センターに集約して行おうといった機構改革を7月から検討し、明後日から始まる議会に提出するところです。課設置条例というものになるのですが、議会の承認を経たからではないと表に出すことができないので承認されたら7月から大急ぎでこのようなPRや庁舎内での案内をしていくことや、このまちのデザインの冊子を組織変更の部分があるので7月15日の配布にさせていただこうとお知らせしながらと考えております。変わるのが課の名前でして、おもいやり課とかまちづくり課とかありますが、元の原点に戻ってしている仕事と下の名前が一致していると分かりやすいと考え、戸籍のあたりは町民生活課や総務課や企画財政課と考えております。議会の承認を経たのちに、PR等していきますので、ご承知おきください。

(委員長)

あとよろしいでしょうか。長時間にわたり申し訳ありません。この委員会の重要性を皆さんも認識されていると思いますが、子育てについてとか色々具体的に情報交換とかはできませんが、そういった中での委員会ですので、また機会を設けてですね。次回はまちづくり計画の具体的な話が出てくるのではないのでしょうか。役場の課の名称も含めて、町民にとって良い方向に向いていくといいなと思っております。皆さんの意見をたくさん聞けたかと思っておりますので、本日の委員会はこれで終了させていただきます。

9. 閉会